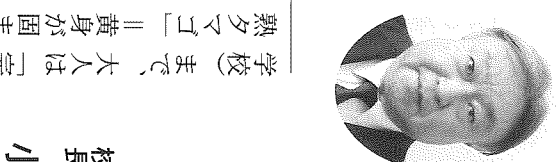


「半熟タマゴ」の時代



令和三(二〇二二)年三月一日、第四二期卒業生七五名を加え、秋田県立仁賀保高等学校同窓会は、八、一〇五名となり、同窓生の中には、新型コロナウイルス感染症、不安な毎日が制限され、日常生活が制限により、日常生活の蔓延により、危険を回避する学習を繰り返し、小学校時代には、交通安全について先生が口を揃えておこなわれた。保護者の皆様の無念さを考えた時、何かの機会に思い出される「こころ」が、自分の意志で「制限を乗り越えて、達成感のある思い出深い式に創り上げたいと思います。さて、昨年度の同窓会報で自称「仁期生」を公言した私ですが、おめでたい門出に当たり、仁高生と生徒会に対する期待感について、同窓生にも知って欲しいと思います。高校時代を「ゆでタマゴ」と考えます。「生タマゴ」は、義務教育(中

学校)まで、大人は「完熟タマゴ」! 黄身が固まった「ゆでタマゴ」です。誕生から幼少期を経て、中学校時代をふり返り、親の手を100%借ります。熱教職員や地域の大人は、半熟度を踏まえて指導や支援を行い、生徒のみならず、未来へと導いてくれます。仁高生は、まさに今、半熟タマゴ「時代」の真っただ中を生き延びています。

校長 小園 敦

にわかほのほかに (旧上郷小学校) インターネット ラジオ番組に、仁高同窓生が多数出演中です!

編成放送お同窓生が出演して話題になっております。この番組のパーソナリティは仁高のインターネット形式でダウンロード可能なので、ぜひ、お時間あるときにお聴きください。

あなたのおばんです第7回! パーソナリティ 元ケースケ&ワサ) 仁高OB
2020年8月7日放送: 佐藤正昂さん
<https://anchor.fm/oban-studio/129/episodes/vol-07-ehb13c>

あなたのおばんです第25回! パーソナリティ 元ケースケ&ワサ) 仁高OB
2020年12月11日放送: 佐々木恵介さん
<https://anchor.fm/oban-studio/129/episodes/vol-25-ehb70b>

また、市川雄次にわかほ市長がパーソナリティを担当する番組、「いちかわのじくじ」にも、仁賀保高校生や小園敦校長が出演しております。ぜひ、こちらもお聴きください。

いちかわのじく第6回ゲスト・小園敦仁賀保高校長
2020年8月19日放送: 対談テーマ「高校と地方創生」
<https://anchor.fm/ichikawa-studio129/episodes/vol-06-ehbe3c>

いちかわのじく第10回ゲスト・超神ネイガー (仁高OB)
2020年10月14日放送: 対談テーマ「青銀共創」
<https://anchor.fm/ichikawa-studio129/episodes/vol-10-el1abp>

いちかわのじく第17回ゲスト・仁賀保高校生徒会 (会長&男女副会長)
2021年1月20日放送: 対談テーマ「地域と高校生」
<https://anchor.fm/ichikawa-studio129/episodes/vol-17-ep70jf>

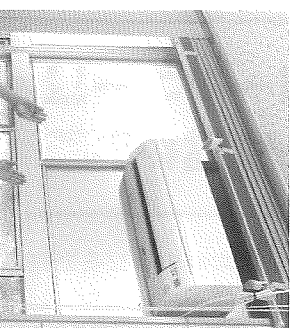
これからも、仁賀保高校は「にわかほのほかに」のインターネットラジオ局と協働して参ります。

令和2年度は仁賀保高校同窓会設立40周年の節目にあたり、新型コロナウイルス感染症の影響で、役員会や総会等を開催できない状況でありました。

令和2年度 同窓会事業 40周年事業 について

母校職員室へエアコン3基を寄贈

そのような中、学校側とも相談をし、後輩たちの指導に毎日毎日頑張ってくださいている先生方が、暑い夏にも健康管理に注意しながらお仕事に集中出来るよう、職員室へエアコン3台の寄贈を決定し、6月上旬に設置しました。



新しいエアコンに感動する同窓生教員・石澤宏基先生 (第8期生、1987年3月卒業)

仁賀保高校の職員室にご挨拶もできず、誠に失礼いたしました。校務分掌では、総務部主任・早藤史史先生の下で、同窓会事務局を担当して、8期卒業生の石澤宏基教諭が着任されました。どうぞよろしくお願いいたします。仁高生は、まさに今、半熟タマゴ「時代」の真っただ中を生き延びています。

8期卒業生(1987年3月卒業)の石澤宏基教諭が、3年副主任、特別活動部長、山岳部顧問・にかほ市教育委員会などの地元と仁賀保高校が「協働」する仕事を行っています。その業務には、もちろん同窓会事務局も加わっている次第です。

仁賀保高校の卒業生は、ご協力をいただきました。

同窓会事務局に8期卒業生 石澤宏基教諭が着任!

様々な分野で活躍されており、9期生「超神ネイガー」こと海老名保さん(文責:同窓会事務局、お願ひ申し上げます。ツキさんなど、校歌1番エピソード「藤本タマキさんなど、校歌1番の歌詞「世の光なる人たらん」方々がいます。

一方で、私が接する同窓生の中には、行政・医療・商業・製造業・教育分野などの現場第一線で、自立したなくても、黙々と地域社会を支える方々もいらっしゃいます。

以上の同窓生の皆さまから、あと6年後(2027年)となる仁賀保高校創立50周年への期待が寄せられています。現在、生徒数の減少が著しい我が母校ですが、仁賀保高校に様々なご支援とご協力をいただきました。



解説する石澤宏基教諭



本校9期卒業生の今野壯一氏が営まれている田利町黒沢の有限会社今野電気が、暑い夏にも健康管理に注意しながらお仕事に集中出来るよう、職員室へエアコン3台の寄贈を決定し、6月上旬に設置しました。

新しいエアコンに感動する同窓生教員・石澤宏基先生 (第8期生、1987年3月卒業)